

安全保障関連法案の強行採決を許さない！



「これが民主主義か」「強行採決やめろ」「憲法違反だ」と怒号が飛び交い大混乱する中、安全保障関連法案が、15日午後の衆院特別委員会で与党の賛成多数で可決されました。そして、翌16日午後の衆議院本会議でも、多くの野党が抗議の退席をする中、自民党・公明党・次世代の党の賛成多数で可決し、参議院に送付されました。

憲法違反の安全保障関連法案を正当化する強行採決は断じて許すことができません。集団的自衛権行使を容認し、自衛隊の海外での活動を大幅に拡大する法案が成立すれば、自衛隊が世界レベルで武力行使を行うことが可能になります。まさに戦争のできる国、戦後の安全保障政策の大転換で犠牲になるのは私たちです。

「民主主義って何なんだ」「9条守れ」「安倍政権の暴走とめろ」 抗議の意思を示そうと、人波が国会前へ、そして各地に広がる！

15日午後6時半、国会正門前の集会に仕事を終えたサラリーマンや親子連れなど、様々な世代、約2万5千人（主催者発表）が数百メートルにわたって歩道を埋め反対の声を上げました。京都市の大学生が「きょう行かないと後悔すると思っ

て来た。反対の声を国会に届けたかったから」と訴えています。東京都大田区の警備員も40代の娘夫婦と小学生の孫の3世代で駆けつけた。デモにそろって参加するのは初めて、「今まで生きてきた中で、政治が一番危うい。何か行動しなくてはいけない」と訴えています。

また、広島市中区の前原爆ドーム前の集会では、市民ら約130人が「抗議！戦争法の強行採決を許さん！」という横断幕を掲げて座り込み、安倍晋三首相の地元、山口県下関市の首相の事務所前でも約40人の市民が抗議集会を行いました。熊本市中央区の辛島公園の座り込みに参加した、3歳の長女連れの主婦は「出来ることをしていきたい。東京・渋谷で26日に開かれるママの会のデモにも参加する」と各地で様々な人たちが声をあげています。

今こそ、平和憲法を守るために声をあげよう！！